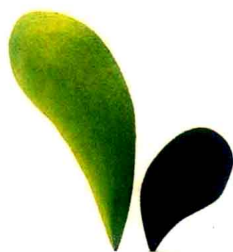


# こんなふう に生きてみたら

心がホッとする、  
母から子への手紙



猪苗代町 猪苗代町絆づくり実行委員会

# こんなふう 生きてみたら

江苏工业学院图书馆  
心がホッとする  
母から子への手紙

猪苗代町 猪苗代町絆づくり実行委員会



こんなふう生きてみたら  
心がホッとする、母から子への手紙  
2004年 4 月30日 第1刷発行

編 者 猪苗代町 猪苗代町絆づくり実行委員会  
発行者 見城 徹

発行所 株式会社 幻冬舎  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7

電話:03(5411)6211(編集)  
03(5411)6222(営業)  
振替:00120-8-767643  
印刷・製本所:中央精版印刷株式会社

検印廃止

万一、落丁乱丁のある場合は送料当社負担でお取替致します。小社宛にお送り下さい。本書の一部あるいは全部を無断で複写複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。定価はカバーに表示しております。

©INAWASHIRO-MACHI, GENTOSHA 2004

Printed in Japan

ISBN 4-344-00610-0 C0095

幻冬舎ホームページアドレス <http://www.gentosha.co.jp/>

この本に関するご意見・ご感想をメールでお寄せいただく場合は、  
[comment@gentosha.co.jp](mailto:comment@gentosha.co.jp)まで。

## 手紙のなかの「虚」と「実」

選考委員 福聚寺副住職／作家 玄侑宗久

母から子への手紙を、今年もたくさん読んだ。

原稿用紙一枚だけなのに、どうしてこうも揺さぶられ、袖を絞らされるのか、些<sup>いさ</sup>かまいつてしまう。

それはきつと、手紙は小説などと違って、「実」だからではないかと考える人もいるに違いない。しかし私は、それは違うと思う。

あらゆる表現は、文字にした途端に「虚」なのであり、本当に感動する文章は、いつだって事実<sup>じじつ</sup>に寄りかかりはしない。たとえ現実<sup>げんじつ</sup>に起きたことでも、それは表現する時点<sup>じしん</sup>で一旦<sup>たん</sup>「虚」として構成し直される。どう表現するかは、いつだって自由なのである。

書き手である母親が、いわば選<sup>えん</sup>び取った「虚構」としての語り口に我々は感動するのだろうか。

「虚」とはつきり意識して構成し直すことは、言い換えれば母親自身が現実そのものを掴み直す過程でもある。不幸な出来事であるなら、立ち直る経過と見ることも可能だろう。私はおそらく幾つもの手紙に、それを書くことでようやく立ち上がった母親の、凛々しい立ち姿や逞しい笑顔を見たのだと思う。

今年の最優秀作は、書くことによって涙を泳え、やがては痛快に笑ってしまう作業を、日々孤独に重ねてきた人だろう。一読してそう思った。授賞式に会ったご当人は「書くことが三度のご飯より好きです」と笑いながら仰ったが、そうした彼女の今を支えつづけ、その笑顔を作ったのが、じつは「書くこと」なのだと思った。

手紙といえども、それは第三者に読まれる事情に関係なく、誠実な虚構として書かれ、そして読まれるべき作品だと思うのだ。

「母から子への手紙」である以上、しかしそこにはどうしようもなく凭れてしまう「実」がある。誰もおそらく自分の子供時代を憶い、また母親としての体験さえ偲んでしまうことだろう。しかもそれは自分でもうまく言葉で言えないような思いだから「実」なのだ。

けつして誰にでも共通するイメージではないはずなのに、「母と子」の関係にはどこか普遍的なイメージを求めようとする。そのイメージを、おそらく読者は勝手に行間に潜り込ませてこれらの手紙を読むのだろう。

たった一枚の「虚構」がこれだけの感動を呼び込むのは、あるいはこの「母性」という「実」の力にも依っているのだろうか。

今の時代は、おそらく誰もがこの「母性」を捜し求めているような気がする。母性とは、女性性ではない。異物をも包み込んで育み、この自分を理屈ぬきで支える無条件の安心感のことだ。

その意味でこの本は、男女に拘わらず、自分のなかに潜む「実」としての母性に出逢うためのテキストかもしれない。「実」としての母性のことを、仏教では古来「慈悲」と呼ぶのである。

こんなふう生きてみたら 心がホッとする、母から子への手紙◎目次

手紙のなかの「虚」と「実」

選考委員

福聚寺副住職／作家

玄侑宗久

|               |    |                |    |
|---------------|----|----------------|----|
| あなたを信じてよかった   | 10 | 無事に帰ってきますように   | 30 |
| 生きる力          | 12 | 一番のファン         | 32 |
| 最期の嘘          | 14 | 夢でもいいから        | 34 |
| あなたがいてくれたから   | 16 | いつもありがとう       | 36 |
| 茶髪にピアスのあなただけど | 18 | オメチャン          | 38 |
| 雨を降らせないで下さい   | 20 | ふるさと           | 40 |
| 生きて帰ってくるんだよ   | 22 | 生きられるだけ、生きてみよう | 42 |
| 同居中の娘へ        | 24 | 母の声が聞こえますか？    | 44 |
| 約束違反          | 26 | 温かな手           | 46 |
| あなたを失いたくない    | 28 | 早く帰ってきなさい      | 48 |

|               |    |
|---------------|----|
| 天からの試練        | 50 |
| 愛でつながっているのが親子 | 52 |
| 母を救った言葉       | 54 |
| あなたの手料理       | 56 |
| お母さんの目        | 58 |
| あなたが一番辛いはずなのに | 60 |
| おかえり          | 62 |
| ボロボロの心        | 64 |
| もしも願いが叶うなら    | 66 |
| お母さん          | 68 |
| 大人の女性         | 70 |
| 勇気の決断         | 72 |
| 一番の贅沢         | 74 |
| 夫婦和合の秘訣       | 76 |

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 見えないルール         | 78  |
| 欲張り             | 80  |
| 言えなかった言葉        | 82  |
| あなたの支えになっていますか？ | 84  |
| 羽があつたら          | 86  |
| 三途の川            | 88  |
| かけ違えた心のボタン      | 90  |
| 「愛」つてなあに？       | 92  |
| お母さんが死んだら       | 94  |
| あふれ出る思い         | 96  |
| あなたのいないメリット     | 98  |
| 馬鹿な母            | 100 |
| もう一度逢いたい        | 102 |
| ひとりじゃないっていいね    | 104 |

|               |     |
|---------------|-----|
| あなたと私の記念日     | 106 |
| お母さんにおなりなさい   | 108 |
| やり直すことができたなら  | 110 |
| ごめんなさい        | 112 |
| 一人前           | 114 |
| 生きていれば        | 116 |
| おまえが生まれた時     | 118 |
| 本当の気持ち        | 120 |
| 生かしてくれて、ありがとう | 122 |
| 結婚しなさい        | 124 |
| あなたを追いかけて     | 126 |
| 遠い日のこと        | 128 |
| 自衛官のあなたへ      | 130 |
| 一番恐い人         | 132 |

|               |     |
|---------------|-----|
| あなたのおかげ       | 134 |
| この世に送りだしてごめんね | 136 |
| 七夕のお祈り        | 138 |
| 母の様にはなりたくない   | 140 |
| 天国の息子へ        | 142 |
| 聞こえない耳        | 144 |
| 老婆心           | 146 |
| 親の身勝手         | 148 |
| 変わらぬ愛         | 150 |
| 親子の絆          | 152 |
| しつかりせんと       | 154 |
| お母さんの勉強       | 156 |
| 本当のこと         | 158 |
| 笑顔            | 160 |

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 生まれてきてくれて、ありがとう | 162 |
| 母親失格            | 164 |
| 忘れられない          | 166 |
| 一緒にいるだけで        | 168 |
| チューリップ          | 170 |
| やつぱり淋しい         | 172 |
| もう少しで生まれる息子へ    | 174 |
| やつあたり           | 176 |
| 宝物              | 178 |
| 心の病気            | 180 |
| 余命              | 182 |
| 新しい生活           | 184 |
| 里親              | 186 |
| 泣き虫なおっかあ        | 188 |

|           |     |
|-----------|-----|
| 出口のないトンネル | 190 |
| 子供の目線     | 192 |
| 笑い話       | 194 |
| 野口シカの手紙   | 196 |
| あとがき      | 198 |

装幀 多田和博＋田中和枝  
カバー写真 オリオンプレス  
本文デザイン 宮村ナオミ

# こんなふう に生きてみたら

心がホッとする、母から子への手紙

# あなたを信じてよかった

優秀賞

平成七年一月十六日の深夜、あなたとの激しいやりとりに疲れ、やっと床についたものの、どうしようもない思いに眠る事ができませんでした。

中学生になってから反抗はんこうが増していくあなたを見ていて、一番迷い、苦しみ、もがいているのはあなた自身だとわかっていても、あなたを責め、私自身を責め、焦燥感しょうそうかんばかりが襲おそってきました。

翌十七日早朝、大きな揺れで目が覚め、気がつくと、隣の部屋の弟がタンスの下敷になっていましたね。あなたを必死で呼ぶ私の声に「お母さん、

今行くから、待つきー！」という声。

本棚の下から自力で這い出て、弟を助けようとがむしゃらにドアをこじ開け、ダンスを持ち上げるあなたの姿を見た時、心に決めたのです。あなたを信じよう、もう一度信じよう、と。

その後も何度もけんかしましたね。その度、私はいつもあの日の事を思い出していました。

あれから八年。今、思います。あなたを信じてよかった、と。

兵庫県神戸市 鳥越由美子 49歳

大阪府豊中市で被災（阪神・淡路大震災）。当時、長男は高一、次男は小六でした。

# 生きる力

佳作

お金っていうもんはね、だまっとって手に入るもんやなかとばい。

みんながあんたに、こづかいつてくれるとはね、それなりに私達がつき合いつてもんばしよるけんよ。あんたに対して、どうこうということやないとばい。

あんたは、あたり前のような大きな顔で、自分の手元のお金は、考えることなく使いたい放題ほうだい使い、それでもお金がいれば、「お母さん、お母さん……」やろうが。ふざけなさんなね。

携帯電話だって、自分で払わんけん使いっぱなしのやりっぱなし。何もならんことばかり、毎日毎日、べらべらしゃべることがあるよね。

私が母から育てられたときは、自分の欲しい物は、自分が働くようになっていくらでも買いなさいと言われてきたばい。実際働いても、そうそう、自分の欲しい物も手に入らんやつたけど……。

その母（あんたから言えばあちゃん）の初盆はつぼんも無事終えた今、私からあんたへ。欲しい物は、自分の力で手に入れなさい。それが生きる力ばい。

福岡県太宰府市 橋本美穂 40歳

今どきの高校生、言うことは言うが自分の力のなさも理解せず、親の言うことはききません。もっと自分に厳しく強く生きて欲しいと願います。

## 最期の嘘

佳作

お詫びの手紙です。以前、あなた達夫婦が腎臓病で入院した夏、私がで  
きることを留守中に考えた時のこと。今の老人ホームに入って早いもので  
十年になりますから種明かしします。

当時、息子のお前はいいとして、かをるさんの負担を少なくしてあげよ  
うと思ってね。それで私からホームに入りたいと言って、みせた「同居す  
るべからず」のお父さんのメモは私が口実<sup>こうじつ</sup>に作った物でした。お前より快  
復に年数がかかりそうな、かをるさんにしてみたら余計に辛い思いをさせ